

## BAB IV

### KESIMPULAN

Setelah penulis menganalisis penggunaan *Joshi* の “ *no* “ dalam bahasa Jepang berdasarkan struktur kalimat dan maknanya, penulis dapat menarik kesimpulan dari penggunaan *Joshi* の “ *no* “ dalam bahasa Jepang berdasarkan struktur kalimat dan maknanya, sebagai berikut :

1. Penggunaan *Joshi* の “ *no* “ genitif dan posesif dalam kalimat bahasa

Jepang :

- Penggunaan *Joshi* の “ *no* “ dalam kalimat, merupakan kata bantu yang menerangkan objek nomina, menunjukkan kepemilikan, kebendaan, waktu, menerangkan letak, tempat atau keberadaan, menerangkan suatu cara dan sebab akibat, menerangkan suatu aksi, kualitas dan kondisi, serta untuk menghindari pengulangan kata benda.
- *Joshi* の “ *no* “ dapat diikuti oleh bentuk negatif dan dapat diikuti oleh bentuk positif.
- *Joshi* の “ *no* “ makna genitif dan posesif dapat ditempatkan dalam satu kalimat.

2. Ciri-ciri *Joshi* の “ *no* “ yang mengandung makna genitif dan posesif, yaitu :

- *Joshi* の “ *no* “ makna genitif memiliki banyak makna tergantung konteks kalimatnya, diantaranya : “ dari “, “ terletak “, “ buatan “, “ saat atau waktu “, “ akibat “, “ cara “ serta “ berada “.

Ciri-ciri *Joshi* の “ *no* “ makna genitif yaitu *Joshi* の “ *no* “ yang dilekatkan setelah kata benda atau kata ganti kemudian dilekatkan langsung dengan kata benda ( *noun or pronouns* + の “ *no* “ + *nouns* ) ( kata benda atau kata ganti + の “ *no* “ + kata benda ).

- *Joshi* の “ *no* “ makna posesif memiliki makna “ kepemilikan “.

Ciri-ciri *Joshi* の “ *no* “ bentuk posesif yaitu *Joshi* の “ *no* “ yang dilekatkan setelah kata ganti orang kemudian dilekatkan langsung dengan kata benda ( *personal pronoun* + の “ *no* “ + *nouns* ) ( kata ganti orang + の “ *no* “ + kata benda ).

日本語における属格及び所有格を持つ助詞の「の」の分析

「統語論及び意味論による分析」

ウィンディ ウィディアスツチ

0342032



マラナタキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2008

## 1 ページ

日本語における属格及び所有格を持つ助詞の「の」の分析

「統語論及び意味論による分析」

### 序論

助詞は 語と語を関係づけ、文し、その文の意味に影響を与える語である。

牧子池上 (NKJY,1998 : 115) によると :

“ 助詞は常に他の語の係に置かれる付属語で助動詞と違って活用がなく、文の中の語と語を関係づける機能を持つ語。”

「の」は助詞の一つである。「の」は多数の意味を持つ。したがって、筆者は日本語における助詞の使い分けを研究することに興味を持つことになった。

属格の意味を持つ助詞「の」 :

「属格助詞の「の」は後につく名詞の意味の関係の変化を説明するために使われる。」

(辻村、AITJL,1996 : 134)

所有格の意味を持つ助詞「の」 :

「この「の」は基本的に名詞を所有形に変化させる。機能は英語の「's」と同じである。二つの名詞間に置かれ、前者の名詞と共に後者の名詞を変化させる。助詞の「の」は意味の変化を表すために人称代名詞の後に付かなければならない。」

(川島 A.Sue, ADOJP, 1999 : 14)

本論

1. 属格の意味を持つ助詞「の」

属格の意味を持つ助詞の「の」は 10 種類ある。それは：目的語、行動、客観的存在性、物の存在あるいは位置、事情、品質、時期、方法、因果を説明するものである。また、この助詞は動詞の反復を避けるために使われる。

a. 目的語を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - これはふじさんの写真です。

意味：上記の文は目的語を説明する「元」の意味を持つ。

b. 客観的存在性を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 鳥の声が聞こえますね。

意味：上記の文は客観的存在性を説明する「出原」の意味を持つ。

c. 物の存在あるいは位置を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 駅の前に大きいスーパーができました。

意味：上記の文は物の存在あるいは位置を説明する「～にある」の意味を持つ。

### 3 ページ

- d. 行動の中心の格を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 野球の練習します。

意味：上記の文は行動の中心の格を説明する「行動」の意味を持つ。

- e. 事情を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - きのう私は僇儂の老人を見ました。

意味：上記の文は事情を説明する「事情」の意味を持つ。

- f. 品質を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 全自動のカメラがほしいです。

意味：上記の文は品質を説明する「品質」の意味を持つ。

- g. 時期を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 今年の四月にバンコクから来ました。

意味：上記の文は時期を説明する「ころ」または「とき」の意味を持つ。

- h. 方法を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 飛行機の旅行は楽しいです。

意味：上記の文は方法を説明する「方法」の意味を持つ。

- i. 因果を説明する属格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 今では伝染病の死亡率は少ないです。

意味：上記の文は因果を説明する「にある」の意味を持つ。

#### 4 ページ

- j. この助詞は名詞の反復を避けるために使われる。

例： - 絹のくつしたはナイロンののよりよいです。

意味：上記の文は「前に出てきたの名詞」の意味を持つ。

#### 2. 所有格の意味を持つ助詞「の」

- a. 肯定形に付く所有格の意味を持つ助詞「の」。

例： - 弟が私のパソコンを壊しました。

- 妹の服を洗濯しました。

意味：上記の文は所有を説明する「～の所有」の意味を持つ。

- b. 否定形に付く所有格の意味を持つ助詞「の」。

例： - これは私のめがねではありません。

意味：所有格の意味を持つ助詞の「の」は否定形に付くと、全文の意味も否定の意味にする。上記の文は「～の所有ではない」の意味を持つ。

#### 結論

筆者は日本語における助詞の「の」の使い分けを文の構造及び意味より見て分析した結果、次の結論が得られた：

1. 日本語における属格及び所有格助詞の「の」の使い分け：

- 文における助詞の「の」は名詞の目的語、所有、客観的存在性、時期、位置、場所あるいは存在、

## 5 ページ

行動、品質及び、事情を説明したり、また名詞の反復を避けるために使われる。

- 助詞の「の」は否定形及び肯定形に付くことができる。
- 属格の意味を持つ助詞の「の」及び所有格の意味を持つ助詞の「の」は一つの文に存在することができる。

### 2. 属格及び所有格の意味を持つ助詞の「の」の特性は：

2.1 属格の意味を持つ助詞の「の」は文脈によって多数の意味を持つ。そのなかで「から」、「にある」、「～の作成」、「ころ」、または「とき」、「結果」、「方法」、それに「存在」という意味がある。

属格の意味を持つ助詞の「の」の特性は名詞あるいは代名詞の後に付き、直接に名詞に付く。( *noun or pronouns + の + nouns* ) ( 名詞あるいは代名詞 + の + 名詞 )。

2.2 所有格の意味を持つ助詞の「の」は「所有」の意味を持つ。

所有格の助詞の「の」の特性は人称代名詞の後に付き、直接に名詞に付く。( *personal pronoun + の + nouns* ) ( 人称代名詞 + の + 名詞 )。